

オプトアウト文書【2021年3月版】

当院を受診された患者さんとそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受付番号	20210029
研究課題名	大腿骨近位部骨折症例への骨粗鬆症治療薬導入1年後の処方継続状況に関する研究
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 薬剤部 竹之内 正記
連絡期間	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2021年9月30日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
研究の目的と意義	骨粗鬆症の方が一度骨折すると、その後二度目の骨折が起こるリスクがあります。そのリスクを抑えるためには骨粗鬆症の治療薬を継続していただくことが重要です。そこで、本研究では、当院にて入院中に骨粗鬆症治療薬処方が開始された患者さんが退院後も継続して治療薬を処方されているかを調査し、継続されていない場合はその原因を探ることを目的としています。原因がわかれば、それに対策を講じ、患者さんの骨折リスクの抑制向上を目指します。
研究の方法	本調査では、研究責任者が対象となる方の電子カルテ（診療記録）を選び、退院後の通院状況や薬の処方状況についての記録を集計させていただきます。
対象者	西暦2018年1月1日～2019年12月31日の間に、当院にて大腿骨近位部骨折で入院し、骨粗鬆症に対して、薬により治療を始めた方
利用する試料/情報	試料：なし 情報等：年齢、性別、転帰、投与1年後の薬剤継続の有無、受診歴、その他（中止理由等）
研究組織	【当院単独研究】 済生会横浜市東部病院 薬剤部 竹之内 正記（研究代表者）
試料/情報の院外提供	「該当なし」
研究資金源	研究者の私費
結果公表	第23回日本骨粗鬆症学会、第39回日本骨代謝学会学術集会にて発表予定
研究終了後の試料/情報の取り扱い	研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、匿名加工情報として廃棄します。
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000 済生会横浜市東部病院 薬剤部 竹之内 正記